

所弓便

第19号

NPO 法人所沢市弓道連盟

会員 243名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

平成29年3月31日現在会員数は243名です。

新会員

28年11月～29年4月末までに入会された皆さんです。

米澤真樹 幸村 巧 高橋鮎未 小野好貴
小林寛子 長谷部弘樹 宇和川千鶴美
伊藤 颯 新井達也 渡邊紀之

昇格・昇段

平成28年11月1日以降29年5月7日までの昇格・昇段者の皆さんです。

教士 松寄恭子
四段 宮嶋重明
三段 池内健治 山口信一 森下珠美
二段 轟 俊生 湯浅紀美子 筒井さくら
荒木大亮 中村千賀 清水公子 小室 勇
石塚正徳 前澤朋子 植村亮子
初段 稲葉秀幸 長尾 健 米澤真樹 永松千穂
石塚彩夏

平成28年度所沢市体育協会賞

次の方々の受賞がありました。おめでとうございます。表彰式は3月4日市民体育館サブアリーナにて行われました。

所沢市体育協会功労賞

星川三樹男

所沢市体育協会優秀選手賞

豊田琢磨 増田裕子 下田 徹 熊井紀一
松寄恭子 森下珠美 粕谷吉一

所沢市体育協会優秀団体賞

[中村徳海・小林孝則・下田 徹] チーム
[石川淳子・増田裕子・松寄 昇] チーム、
[熊井紀一・平山夏子・下田 徹] チーム

平成29年度県連長寿表彰式

4月23日、クレアこうのす において次の方々が表彰を受けられました。

- ・米寿： 矢内弘信、奥村 繁
- ・傘寿： 市毛 勲、永田欽一、井口恒夫

総会・理事会・常任委員会・部長会

1月11日：

平成28年度第2回NPO法人理事会：

理事5名、監事2名全員出席のもと、平成30-31年度役員（案）、事業計画（案）ほかについて打ち合わせた。

1月14日：第3回部長会：（出席12名）

- ・第3回常任委員会提案事項の検討

1月21日：第3回常任委員会（出席23名）

総会提案事項の検討
平成30-31年度役員（案）、
平成29年度活動計画（案）に関する件ほか

3月26日：第1回部長会：（出席14名）

常任委員会及び総会資料の検討

4月 8日：監事監査

監事2名により、理事5名、会計担当者出席のもと、業務の執行状況及び会計監査が行われた。

4月 9日：平成29年度第1回常任委員会

（出席20名）：総会資料案の最終検討

4月15日

平成29年NPO法人第3回通常総会

出席者144名（内、委任状91名）

（来賓）

所沢市弓道連盟顧問

所 沢 市 長 藤本正人様

所沢市市議会副議長 荻野靖男様

所沢市弓道連盟顧問

所沢市議会議員 秋田 孝様

所沢市弓道連盟顧問 並木正芳様

来賓の皆様からご祝辞をいただきました。

藤本市長よりは、市街化調整区域での道場建設認可は難しいが、熊野神社の再検討から糸をほぐしていきたいとのコメントを頂きました。

（会長挨拶）

皆様のご協力により、平成28年度の事業も、新道場建設を除き、予定通り終了し、第3期目の総会を迎えることが出来ました。

本日は、連盟顧問をお引き受け頂いている藤本市長、秋田議員、並木先生、また荻野市議会副議長にもご臨席頂き有難うございます。

今日は、NPO理事・監事の改選、事業計画等を審議する大事な総会です。29年・30年度に向けて、十分な審議をお願いします。

残念ながら、去年の総会同様、新道場を建設する目途が立っていないことをお詫びしなければなりません。土地提供のお話を薦めて下さった会員の皆さんに改めてお礼申し上げます。

現在、市長のご指示で、スポーツ振興課が、再度、熊野神社と弓道連盟の貸借の仲介が可能か、熊野神社に働きかけて下さることになっています。

種々ご判断いただき、皆さんの総意のもと、新道場建設が実現出来るよう切望し、挨拶と致します。

（議事内容）

議長に選出された草賀相談役の進行のもと、“平成29・30年度役員選任の件”、“29年度事業計画、予算”など決議事項7議案はすべて提案通り可決されました。

その他、会長から新道場建設関連の状況報告や、武道館の借切時間に関する件、会員の底辺拡大のため、諸行事等を通じて広く弓道連盟の活動のPRを図っていくことなどが話し合われました。

道場メンテナンス関係

12月18日（土）大掃除・安土砂、目詰まり補修（一部壊して積み直し）。

射場シャッターガラス拭き。安土的位置印取り付け修正等。

【指導部】**定期講習会**

平成28年4月から平成29年3月末までの講習会受講者数

水曜講習会（見原重信先生）

（毎月第4水曜日）

受講者 延158名

土曜講習会（（草賀 淳先生）

（毎月第2土曜日）

受講者 延289名

寒稽古

1月5日～9日（5日間）

参加者 延103名

初心者教室

平成28年度後期初心者教室

（シンコースポーツ主催）

11月26日～12月17日（全6回）

毎週土曜日 13:30～16:30

参加者数 9名 受講者 延35名

入会者 3名

《特別賞》

徳丸久美子 齋藤柊茉

【競技部 (スポーツ少年団支援部含む)】

《所弓連主催射会》

納射会 (12月11日) (参加82名)

《団体戦》

団体 得点制、一人8射、チーム編成は使う矢のはぎ糸の色を基本に組み合わせた。

1位 宮嶋重明 足立夕弦 渡邊徳雄

2位 家長知史 野上脩久 小林孝則

3位 篠原一郎 森下珠美 熊井紀一

3位 元田郁男 佐々木優奈 石川淳子

《個人戦》

1位 下田 徹 2位 松寄 昇 3位 中村徳海

4位 三好啓子 5位 渡邊徳雄

歳末百射会 (12月25日)

平成28年所沢市弓道連盟歳末百射会を午前9時30分に開始し、射終わりを19時までとした。

参加総数47名 百射修了者38名

1位 下田 徹 86中 2位 中村徳海 82中

3位 粕谷吉一 71中 4位 関口二郎 68中

5位 平山夏子 64中 6位 飯尾 弘 57中

7位 半田惣一郎 56中 8位 渡邊徳雄 56中

9位 飯島稔凱 55中 10位 澤田靖子 55中

初射会 (1月14日) (参加79名)

・巻藁射礼

射手 草賀 淳 教士六段

介添 平山夏子 教士六段 松寄恭子 教士六段

・矢 渡

射手 新家 透 錬士六段

介添 石川淳子 錬士六段 増田裕子 錬士六段

成績

《金的賞》

天位 小野好貴 地位 沖園史華 人位 石田順之介

《扇的賞》

天位 関口二郎 地位 三好啓子 人位 野上脩久



(草賀 淳先生による 初射会巻藁射礼)

武道祭 (2月7日)

演武者10名、会長、放送係、連絡係、

手伝1名の合計14名参加

(演武内容)

女性5人(小山、安江、川端、澤田、奥富)による持的射礼を行う。続いて男性5人(藤原、関口、中村、瀬賀、山口)によるつくばいで板割りを行う。

演武終了後に体験教室が行われ、大勢の子供たちの参加があった。

月例射会④ (2月12日) (参加者55名)

(2段以下)

1位 森下珠美 2位 荒木大亮 3位 田中恵美子

(3～5段)

1位 中村徳海 2位 中村康代 3位 小林孝則

(称号者)

1位 瀬賀邦夫 2位 嶺美智子 3位 粕谷吉一

月例射会⑤ (3月12日) (参加者60名)

(2段以下)

1位 米澤真樹 2位 齋藤柊茉 3位 前澤朋子

(3・4段)

1位 中村康代 2位 廣瀬雅孝 3位 安江仁美

(5段以上)

1位 関口二郎 2位 粕谷吉一 3位 小林孝則

総会射会 (4月15日) (所沢武)

(参加者40名)

射候：予選 四矢立射1回、2中以上で決勝進出
 (22名)、 決勝 射詰競射
 優勝 粕谷吉一 2位 田中恵美子
 3位 石川淳子 4位 中村徳海 5位 松寄恭子

《対外競技会》**埼玉県武道弓道大会 (11月20日) 県武**

(参加者 所弓連5名 スポ少8名)

中学生の部 個人 3位 青山千桂
 一般男子の部個人 3位 下田 徹

西部支部納射会 (12月4日)

(所沢参加者28名)

(4・5段)

3位 関口二郎

(称号者)

1位 永島英男

(総合優勝)

永島英男

埼弓連新年初射会(1月8日) (県武)

(所沢参加者21名)

有段者 2位 奥富季乃

西部支部初射会 (1月24日) (所沢武)

(所沢参加者27名)

1位 粕谷吉一 5位 中村康代

神奈川県・埼玉県弓道指導者親善射会(3月19日)

(県武) 所沢参加者2名 入賞者なし

全国勤労者弓道大会・埼玉県予選会(3月12日)

(県武) (所沢参加者4名) 入賞チームなし

西部支部総会射会 (3月26日) (所沢武)

(所沢参加者20名)

3位 松寄恭子 6位 廣瀬雅孝

秩父神社奉納第59回埼玉県下武道(弓道)大会

(4月29日)(申込み49名 秩父第一弓道場)

中学生の部

団体 3位 スポ少D

齋藤柊菜、中村天香、野上脩久

個人 5位 齋藤柊菜

一般の部

団体

優勝 所沢N 中村徳海、小林孝則、下田 徹

2位 所沢E 松寄 昇、小島理恵、廣瀬雅孝

4位 所沢L 関口二郎、黒木智哉、関口研二

個人

優勝 下田 徹、2位 粕谷吉一、3位 松寄 昇、

4位 中村徳海

第24回入間市近隣親善弓道大会 (5月5日)

(参加者 128名 内所沢 27名)

団体 2位

所沢C 坂川隆人、黒木智哉、関口二郎

個人 2位 関口二郎 6位 三好啓子

9位 小山 等 10位 飯尾 弘

11位 廣瀬雅孝、13位 中根幸二

【スポーツ少年団支援部】

(*スポーツ少年団支援部の各種射会記録は競技部にも掲載しています。)

所弓連納射会 (12月11日 参加16名)**スポ少納射会** (12月17日 参加21名)**道場大掃除** (12月10日 参加10名)**所弓連初射会** (1月14日 参加13名)

金的 地位 沖園 史華 人位 石田順之介

扇的 地位 野上 脩久 五位 齋藤柊菜

所沢市スポ少交流大会

(マラソン大会所沢航空記念公園 2月19日)

参加10名

卒団祝射会 (3月11日 武道館)

卒団祝射会 … 卒団生 7名、在団生 25名参加

∞ 投 稿 ∞**初心者教室入門から四段合格まで！**

宮嶋重明

平成28年11月27日、熊谷にて行われた地方審査にて四段に合格が叶いました。

25年6月「初心者教室」の門を叩いて以来、我慢強く熱心にご指導頂いております先生方、諸先輩の皆様には心より御礼申し上げます。また、共に励まし合いながら弓を楽しんできました弓友の皆様にも深く御礼申し上げます。

合格した翌日、道場にて、お祝いを頂いた際、本人としては謙虚のつもりで「まぐれですよ！」と言ってしまいましたが、そのすぐ後に発刊された「所弓便」(第18号)に掲載されたS氏の合格寄稿文の中に「これは、まぐれとか偶然とかたまたまとか、そんな言葉で済ましてしまったらご指導頂いている先生になんと失礼な事か。」という一文を見つけ、私自身なんと不遜であったかと気付かされました。まさに、合格は先生方の不断の我慢強いご指導の結集なのです。但し、「幸運」に恵まれた事は自認しております。

私のごく短い弓歴で僭越ですが、初心者の皆様にも少しでも参考になればと思い、この間、稽古について考えてきたこと、感じた事を、以下に述べてみたいと思います。

まず、「初心者の弓道は一人では絶対にうまくなれない。」という事です。多くのスポーツでは見よう見まねと鍛錬によって、一人のトレーニングでそこそこのレベルに達することが可能ですが、弓はそうは行きません。弓道修練においては、出来る出来ないは二の次として、先生方のご指導、あるいは弓友の助言に謙虚に耳を傾け、考えながら稽古することが肝要だと思います。(漫然と矢数をかけても鍛えられるのは筋肉だけ、場合によっては逆効果にもなりかねません。)

次に、私が初段に合格した際「所弓便」に寄稿

させて頂いた文章のなかで本当に生意気なのですが、以下のように記載させて頂いておりました。

「今後も、中てることは二の次にし、「正しければ中る」「(但し、正しくなくても中る事がある事を戒めつつ)を信じて、「射法八節」に拘りつつ、私の憧れとする「威儀正しく、質実剛健、従容典雅」を目指して稽古を積んでいく所存ですので……。」

私自身、この考え方は今でも変わっていません。私の場合、弓に魅かれた理由は「凜然とした射の姿」であり、今後も「カッコよい(癖の無い)弓」を目指したいと思います。

もう一点、毎回の審査結果をみると、初段、二段の合格率は8~9割ですが、参段になると急にハードルが高くなって、2割前後と大きく落ちてしまいます。その主たる理由は最低1本の「中り」が求められるからです。私の場合、初段、二段の審査では凄い緊張感は有りましたが、変なプレッシャーはなかったように思います。それが参段挑戦になり「中てなければ！」との思いがプレッシャーになって目指す射が出来ていなかったのだと思います。しかし、「出来れば2本の中り」が求められる四段の審査に片矢で2度落ちて気がついたのは「1本入れればいいんだ。」と思えば意外とプレッシャーから解放されるのではとの思いに至った次第です。

駄文になり失礼しましたが、今後も「射法八節」、「縦横十文字」バカで稽古を積んでいく所存です。私の射の姿態が曲がっていたら「歪んでるよ！」と声を掛けて下さい。

これからも、皆様と「楽しい弓」、そしてたまには「楽しいお酒」がご一緒できる事を念じております。

さらに、蛇足。私の好きな教歌です。

「大三」から『剛は父 繫(かけ)は母なり 矢は子なり 片思いして矢は育つまじ』・・・と唱えながら「離れ」、「残心」。(教本二巻 P130)

お粗末さまでした。

参段審査に合格して

池内健治

熊谷運動公園弓道場で11月27日の審査で参段に昇段できました。感激です。たまたま2本の中射でしたが、それより嬉しかったのは、甲矢でほとんど会なしで離れてしまったのに気づき、乙矢でしっかり持てたことです。

6月に大宮で参段に挑戦したのですが、射が安定せず、自分でも射法が身についてきたという実感のないまま審査に臨みました。1本入ったのですが、弓返りが不十分で、体配や射形が決まらず、納得の不合格でした。夏から秋にかけて、時間を作って弓道場に通って、先生方や先輩諸氏にアドバイスをもらって修練しました。次第に、的に矢が行くようになったのですが、会に問題がありました。渡邊先生から「会を5秒持つように」と何度も指摘していただいたのに、会が十分に持てません。稽古を重ねるとともに、少しずつ長く持てるようになりましたが、まだ不十分な状態でした。

当日、なんとか自分の射をふりかえって修正できたことが、今回の審査の大きな収穫です。これまでの審査では、入場してから退場するまでの間が真っ白で、全く記憶に残っていません。今回、自分を客観的に見ることができたことに稽古の成果を感じました。

審査の一週間前、下田先生に誘っていただき、清水さん、植村さんと一緒に審査会場の弓道場で練習できたことが、とても効果的だったと感じています。下田先生が段取りしていただき、熊谷運動公園弓道場の筑井先生が控えておられて、道場の特徴や体配のポイントについて丁寧に教えていただきました。そのため、このコンセントの右の10センチを「吸う、吸う、はく、はく」で進んで、射位で跪坐に、と落ち着いて当日の審査に臨むことができました。参段のレベルまで技量が達しているとはいえ、合格の自信はなかったのですが、調子の波が参段の合格に連れて行ってくれたようです。

今でも、取り懸けの仕方を色々に変更してみたり、手の内の整え方を工夫してみたり、と試行錯

誤しながら稽古をしています。ときに、全く的中せず、思わぬ方向に矢が行ってしまうこともあります。今のレベルに安住せず、いろいろなアドバイスを素直に受け入れて、まずはやってみて、アドバイスを自分で消化していくことが大切だと思います。周りの方々の支えがあって成長できる、ということが現在の心境です。お世話になった、先生方、先輩・同輩諸氏、一緒に稽古をしてくださる所沢弓道連盟の皆さんに心から感謝いたします。

∞ 会長月誌 (抄) ∞

平成28年11月 1日

シティマラソン大会総務部会
・準備状況の確認等

11月14日

シティマラソン大会実行委員会
・大会概要

11月19日

県理事会
・29年度行事予定(案)

11月22日

市体育協会理事会
・表彰規程の改定

12月10日

県総務委員会
・武道館調整会議と同日、欠席

12月11日

所沢シティマラソン大会
・所弓連納射会と同日、欠席

12月16日

三道大会反省会
・弓道連盟に23千円の運営費支給が決定

12月18日

飯島範士祝射会、祝賀会
・西部支部からは、各道場長が参加

平成29年1月13日

開発指導課
・新道場建築関連業務

1月14日

埼玉連理事会

・所弓連初射会と同日、欠席

1月20日

体協だより校正

2月 5日

武道祭

2月 7日

第3回シティマラソン総務委員会

2月13日

体育協会理事会

・体育協会賞について

2月15日

シティマラソン実行委員会

2月18日

県理事会

・決算、予算、事業計画及び役員改選について

2月26日

支部理事会

・28事業報告と決算 29事業計画と予算」

・役員改選（新支部長池谷茂先生ほか）

3月16日

体育協会競技団体部会

・グラウンドゴルフの加盟について

3月24日

市スポーツ振興課との会議

・市が所弓連に代わり、熊野神社と借地交渉を再開する事に付いて

3月26日

西部支部評議員会

・29年度人事

4月23日

県評議員会

・29年度人事、事業計画、予算

∞ 編集後記 ∞

千年に一度の大地震、あれから7年

ず～っと前から「セツブンソウ」を見に行こうと弓仲間から誘いを受けていたのは7年前の3月11日。

お目当てのセツブンソウに巡り合え、ほっとするのもつかの間、14：46道の駅の建物がきしみ、ガタガタと扉を揺する。地が吼え、山が怒る東日本大地震発生瞬間である。

咄嗟に屋外に飛び出し、目まいを感じながら倒れないよう足を踏ん張る。地面が裂けやしないかと思われるような激しい横揺れが5分ぐらい続いたのだろうか。余震もひっきりなしに続く。

携帯は駄目、公衆電話も繋がらない。世界で5指に入る巨大地震だと後で知る。

停電とライフラインが大きく乱れ、10mを超す津波が沿岸に押し寄せ、集落を呑み込み押し流し、壊滅的な被害に怯える。

災厄が濃霧のように人心を包み、多くの安否不明者や家財を損じた避難民、加えて先が見えない原発事故。津波になぶられ放射能に囚われる。

被災者を思い、節電に心がけた記憶は新しい。東日本大震災をめぐり「東北で良かった」などと発言した復興政策を担う大臣がいた。緩んだ軽率な発言に呆れる。

あたり前のように今日も道場で弓を引けることに、改めて感謝！
(小林 記)

編集委員

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則

山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第19号

発行日 平成29年5月15日

発行者 NPO 法人所沢市弓道連盟

会長 新家 透